

2023年度 授業シラバス

科目名	英会話	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 グローバル化が進む社会で求められている英語によるコミュニケーション能力を学ぶ。							
【到達目標】 海外実学研修に向けてコミュニケーション能力を身につける							
【教員の略歴】 Borderless communication Lab 代表 多言語にわたる翻訳、通訳、その他言語に関わるサービスを提供 英語講師(コミュニケーション、英検、TOEICの指導)							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	Introductin	①	Unit7.DVD
②	Unit1. DVD	②	Unit7.DVD
③	Unit1. DVD	③	Unit8.DVD
④	Unit2.DVD	④	Unit8.DVD
⑤	Unit2.DVD	⑤	Unit9.DVD
⑥	Unit3.DVD	⑥	Unit9.DVD
⑦	Unit3.DVD	⑦	Unit10.DVD
⑧	Unit4.DVD	⑧	Unit10.DVD
⑨	Unit4.DVD	⑨	Unit11.DVD
⑩	Unit5.DVD	⑩	Unit11.DVD
⑪	Unit5.DVD	⑪	Exam
⑫	Unit6.DVD	⑫	Unit12.DVD
⑬	Unit6.DVD	⑬	Unit12.DVD
⑭	Exam	⑭	Revie
⑮	Review	⑮	Free Convrsation
準備学習 時間外学習	できる限り英会話に触れる時間と意識を持つこと	評価方法	授業態度、出席率、レポート、筆記テスト等
受講生への メッセージ	英語が苦手な人も、好きな人も一緒に楽しみましょう。 Let's enjoy speaking in English.	使用教科書 教材 参考書	English Firsthand Access

2023年度 授業シラバス

科目名	コンピューター	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 実務上、必ずスキルが必要とされるOfficeアプリケーションのWordとExcelについて、実習を通して学習する。 各回、履修した内容についての課題を、当日、もしくは翌週以降におこない、操作を繰り返すことにより、必要なスキルを習得する。							
【到達目標】 実務レベルに対応できるスキルをつけることを目標とする。							
【教員の略歴】 Word,Excel基本的な操作や機能の習得だけでなく、自身のグラフィックデザイナーとしての経験を活かし、Wordで作成する文書であっても、Excelで作成するワークシートであっても、仕上がりの見やすさや見栄えの良さにも気を配ることを含めて、指導するように心掛けている。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	授業ガイダンス・環境確認	①	Excel第1章 Excelの基本操作
②	Word第1章 Wordの基本操作、	②	Excel2章 数式の作成
③	Word第2章 文章の編集	③	Excel第3章 表の編集
④	Word第3章 表現力のある文書作成	④	Excel第4章 グラフの作成
⑤	Word第4章 図形の応用	⑤	Excel第5・6章 印刷・ワークシートの操作
⑥	Word第5章 表の作成	⑥	Excel第7章 いろいろな関数
⑦	Word第6章 Wordの便利な機能	⑦	Excel第8・9章 Excelの便利な機能
⑧	Word第7章 SmartArtグラフィック	⑧	Excel第10章 Excelの活用・復習課題
⑨	Word総復習課題	⑨	後期試験準備のための模擬試験
⑩	前期試験準備のための模擬試験	⑩	後期試験準備のための模擬試験
⑪	前期試験(Word)	前期試験	⑪ 後期試験 後期試験
⑫	試験振り返り	⑫	試験振り返り
⑬	Word第8章 表の応用	⑬	Excel第11章 Excelの活用・復習課題
⑭	Word第9章 文書をサポートする機能	⑭	Word・Excel総復習課題
⑮	Word第10章 文書をサポートする機能 応用	⑮	Word・Excel総復習・まとめ
準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、次回出席のこと。	評価方法	試験、授業態度、出席率、課題提出率・完成度、臨時および定期試験の成績を総合的に勘案する。
受講生への メッセージ	社会人として即戦力として活躍するために、この授業で、しっかりとスキルを身につけておきましょう。また、毎回の授業は、次回の授業内容と連携しています。苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、出席をするようにしましょう。	使用教科書 教材 参考書	滋慶出版Word2016・Excel2016 USBメモリ必携

2023年度 授業シラバス

科目名	ビジネスマナー	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人の基本である挨拶をきちんと出来るようにする。 ・社会人として必要なコミュニケーション能力を学び、事務技能、一般マナーを身につける。 							
【到達目標】							
企業が求めている即戦力及び人間力を身に付け、実行できる生徒を育成し、社会人としてどのような業界でも実力を発揮し自分の将来ひいては企業の将来を担っていく人材を輩出する。							
【教員の略歴】							
秘書検定1級・ビジネス技能検定・サービス接客準1級を取得し、大学・専門学校で約20年秘書検定、ビジネスマナー、就職指導を担当しています。							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	ガイダンス・コミュニケーションとは?	挨拶・おじぎ		①	4章 社会的スキルⅡ、Ⅲ		
②	2章 基本スタイルⅠ	1～3		②	4章 社会的スキルⅡ	3～4	
③	2章 基本スタイルⅠ	4～6		③	4章 社会的スキルⅡ	6～7	
④	2章 基本スタイルⅡ			④	4章 社会的スキルⅢ	1～2	
⑤	3章 自己表現スキルⅠ	1～3		⑤	4章 社会的スキルⅢ	3～5	
⑥	3章 自己表現スキルⅠ	4～6		⑥	サービスマインドⅠ	1	
⑦	3章 自己表現スキルⅡ	1～3		⑦	サービスマインドⅠ	2～3	
⑧	3章 自己表現スキルⅡ	4～6		⑧	サービスマインドⅡ	1	
⑨	3章 自己表現スキルⅢ	1～2		⑨	サービスマインドⅡ	2～3	
⑩	3章 自己表現スキルⅢ	3～4		⑩	プレゼンテーション	自己アピール	
⑪	復習 模擬テスト		前期試験	⑪	検定 過去問題対策		後期試験
⑫	プレゼンテーション	自己アピール		⑫	直前 検定問題対策		
⑬	4章 社会的スキルⅠ、Ⅱ			⑬	直前 検定問題対策		
⑭	4章 社会的スキルⅠ、Ⅱ			⑭	コミュニケーションスキルアップ検定		
⑮	前期・総復習			⑮	まとめ		
準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、欠席した際には、その内容をしっかりと予習してから、次回出席のこと。			評価方法	授業態度、ワークによる参加型授業による平常点を重視しつつ筆記試験点数を加算する。		
受講生への メッセージ	しっかり授業を受ければ、必ず資格取得ができます。一緒に頑張りましょう。			使用教科書 教材 参考書	コミュニケーションスキルアップ検定		

2023年度 授業シラバス

科目名	放送業界基礎知識	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 即戦力になる為の機材の扱い方、仕事への心構えなどを中心に、実践をメインとした学習。							
【到達目標】 撮影の基本・応用を学び、在学中の撮影現場でスムーズに収録できる技術を身につける。 * 現場への即戦力を育てる！							
【教員の略歴】 様々な番組でENGカメラマンとして活躍、その他コンサート収録なども行なっている。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	カメラの操作方法おさらい	①	簡易サブシステムについて
②	1Kの合わせ方・イマジナリーライン	②	簡易サブシステムの応用
③	複数のカメラを使用する撮影の基本	③	生徒だけで簡易サブを組む
④	複数のカメラを使用する撮影	④	生徒だけで簡易サブを組む
⑤	特殊撮影(レールの使用)	⑤	生徒だけで簡易サブを組み、収録する(メイキング撮影)
⑥	特殊撮影(クレーンカメラの使用)	⑥	生徒だけで簡易サブを組み、収録する(メイキング撮影)
⑦	特殊撮影(レール・クレーンカメラの使用)	⑦	収録映像のプレビュー・確認
⑧	複数のカメラを使用する撮影の基本	⑧	色んなカメラを使用する
⑨	複数のカメラを使用する撮影	⑨	色んなカメラを使用する
⑩	試験前対策	⑩	試験前対策
⑪	前期試験(今までのおさらい)	⑪	後期試験
⑫	30秒動画	⑫	色んなサブ機材を使用する
⑬	音声収録について(マイク関係)	⑬	色んなサブ機材を使用する
⑭	音声収録について(ミキサー関係)	⑭	種類の違うカメラでサブを組む
⑮	カメラでの音声収録方法	⑮	1年間のおさらい
準備学習 時間外学習	TVやライブ映像・マンガ等、 自分の好きなジャンルだけでなく幅広く色々な映像を見ましょう。	評価方法	出席率・授業態度・テストでの評価
受講生への メッセージ	実技がメインの授業です。 学校内だけでなく外に出る事もあります。 動きやすい服装・靴などを心掛けて下さい。	使用教科書 教材 参考書	PMW-320K/EX1R/Z280などのカメラ 音声・照明・特殊機材

2023年度 授業シラバス

科目名	演技・演出	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 1.企画書の書き方(の基本)を学ぶ 2.プレゼンテーションの方法(の基本)を学ぶ 3.発想力の磨き方を学ぶ							
【到達目標】 企画発想・発案、さらにプレゼンテーションについての基礎的な能力を身につける。							
【教員の略歴】 バラエティー・報道・情報・通販と全てのジャンルでディレクター・プロデューサーを経験。 現在も数々のテレビの制作を担当							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	企画・プレゼンの概要	①	発想力を磨く①
②	自己紹介の研究①	②	発想力を磨く②
③	自己紹介の研究②	③	グループワーク(企画・演出会議①)
④	基本①タイトル・キャッチフレーズを考える	④	グループワーク(企画・演出会議②)
⑤	基本②共感してもらうことを意識する	⑤	グループワーク(企画書を作る①)
⑥	基本③物事の長所・短所を考える	⑥	グループワーク(企画書を作る②)
⑦	基本④エピソードを探す	⑦	プレゼンテーションの方法と種類
⑧	基本⑤起承転結を意識する	⑧	プレゼンテーションをする①
⑨	基本⑥5W1Hを意識する	⑨	プレゼンテーションをする②
⑩	最強の自己紹介を作る	⑩	企画書を作る(個人)
⑪	自己PRをする	⑪	企画書を仕上げる
⑫	試験総括	前期試験	⑫ (個人企画の)プレゼンテーションをする① 後期試験
⑬	実際の企画書を見る①	⑬	(個人企画の)プレゼンテーションをする②
⑭	実際の企画書を見る②	⑭	(個人企画の)プレゼンテーションをする③
⑮	前期まとめ	⑮	1年まとめ
準備学習 時間外学習	特にありません。	評価方法	試験・出席・授業態度など
受講生への メッセージ	「企画を立てる」こと、それを「PRする(プレゼンテーションする)」ためのスキルは様々な業種で求められます。基本を身につければ、一生モノの宝となるはずですよ。	使用教科書 教材 参考書	特にありません。

2023年度 授業シラバス

科目名	演劇・映像史	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 少人数のチームによる映像作品の制作をベースに授業を進めます。 企画、撮影、編集、上映に至る映像制作の工程を通して、映像の原理と制作の基礎を学びます。							
【到達目標】 企画、撮影、編集、上映に至る制作の基礎を習得し、映像作品を作る力を身につけることを目標とします。							
【教員の略歴】 映像事務所 代表 大学で美術、映像を学んだ後、映像制作会社を経て、映像事務所を設立。 VP、CM等の広告映像を中心に、モーショングラフィックス、地域プロモーション、展示映像等の制作しています。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	オリエンテーション		①	演習Bプリプロダクション/何をつくるか想像する	
②	授業の概要説明とチームづくり		②	演習Bプリプロダクション/どうやってつくるか準備をする①	
③	映像制作基礎		③	演習Bプリプロダクション/どうやってつくるか準備をする②	
④	ワークフローの解説と編集について		④	演習Bプロダクション/実際につくってみる①	
⑤	演習Aプリプロダクション/何をつくるか想像する		⑤	演習Bプロダクション/実際につくってみる②	
⑥	演習Aプリプロダクション/どうやってつくるか準備をする		⑥	演習Bプロダクション/さらに工夫してつくってみる①	
⑦	演習Aプロダクション/実際につくってみる		⑦	演習Bプロダクション/さらに工夫してつくってみる②	
⑧	演習Aプロダクション/さらに工夫してつくってみる		⑧	演習Bポストプロダクション/編集をして全体を見てみる①	
⑨	演習Aポストプロダクション/編集をして全体を見てみる		⑨	演習Bポストプロダクション/編集をして全体を見てみる②	
⑩	演習Aポストプロダクション/感想をまとめて編集に反映させる	前期試験	⑩	演習Bポストプロダクション/より良くなるように仕上げをする	
⑪	演習Aポストプロダクション/より良くなるように仕上げをする		⑪	演習B合評/完成した作品の上映と合評を行う	後期試験
⑫	演習A合評/完成した作品の上映と合評を行う		⑫	プリプロダクション演習/企画	
⑬	プリプロダクション演習/企画		⑬	プリプロダクション演習/シナリオ・絵コンテ	
⑭	プリプロダクション演習/シナリオ・絵コンテ		⑭	ポストプロダクション演習/タイトル・カラーグレーディング	
⑮	ポストプロダクション演習/タイトル・カラーグレーディング		⑮	作品研究	
準備学習 時間外学習	たくさん映像を観てください。		評価方法	試験・出席率・授業態度	
受講生への メッセージ	映像制作について学んでいきましょう		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2023年度 授業シラバス

科目名	番組・イベント企画	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 15分番組企画の作成及びプレゼンを行い、企画に基づきVTR収録にて番組制作を行う。後期は、進級制作の準備及び作業チェックを行う。							
【到達目標】 番組企画力および番組での演出方法をTV番組制作とともに学ぶ。テレビ番組の企画書の作成とそれに伴うプレゼン方法、演出方法及び予算管理のノウハウを身につける。							
【教員の略歴】 制作プロダクションにて、放送局にて、ドラマ、バラエティ、情報番組、ドキュメント、報道など多数の番組のディレクター、プロデューサーを務める。現在、映像クリエイターとして、テレビ番組以外にも、ケーブルテレビ、企業プロモーション、自主映画の監督などを務める。							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	テレビ番組とは①	①	15分番組完パケ作業	
②	番組の予算について	②	15分番組完パケ作業	
③	番組編成について	③	15分番組プレビュー	
④	営業について	④	進級制作の準備 企画作成	
⑤	15分番組企画作成	⑤	進級制作の準備 予算書作成	
⑥	15分番組企画作成	⑥	進級制作の準備 班分け	
⑦	予算書作成	⑦	進級制作の準備 台本作成	
⑧	班分け	⑧	進級制作の準備 番組ロケ	
⑨	台本作成	⑨	進級制作の準備 スタジオ収録	
⑩	番組ロケ	⑩	進級制作の準備 (編集、MA作業)①	
⑪	番組制作期間(編集、MA作業)	⑪	進級制作の準備 (編集、MA作業)②	後期試験
⑫	番組制作期間(編集、MA作業)	⑫	進級制作 リハーサル	
⑬	スタジオ収録 リハーサル	⑬	進級制作 本番	
⑭	スタジオ収録 本番	前期試験	⑭	進級制作 反省会
⑮	反省会		⑮	総まとめ
準備学習 時間外学習	たくさんテレビを観てください。	評価方法	試験、出席率と授業への取り組み方及び、企画の独創性、発想力 プレゼンの態度、企画書の仕上がり度。	
受講生への メッセージ	一つ上のクオリティを実現させよう！	使用教科書 教材 参考書	テレビモニター、再生用PC	

2023年度 授業シラバス

科目名	コンピュータデザイン	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 MACを使用した、実践型学習。							
【到達目標】 ソフトを使用して基礎的な使い方を学ぶ。							
【教員の略歴】 TVCM・PromotionVideo・TV番組など映像コンテンツプロデューサー、ディレクター。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	映像DATA理解 1	①	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作①)
②	映像DATA理解 2(カメラ使用)	②	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作①)
③	制作現場で使うAdobe Workshop Photoshop 1	③	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作①)
④	Workshop Photoshop 2	④	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作①)
⑤	Workshop Photoshop 3	⑤	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作②)
⑥	Workshop Illustrator	⑥	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作②)
⑦	Workshop Premiere 1	⑦	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作②)
⑧	Workshop Premiere 2	⑧	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作②)
⑨	Workshop Premiere 3	⑨	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作③)
⑩	前期試験	⑩	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作③)
⑪	Workshop Adobe実践	⑪	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作③)
⑫	Workshop Adobe実践	⑫	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作③)
⑬	Workshop Adobe実践(作品提出/PV会)	⑬	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作④)
⑭	Workshop Adobe実践(作品提出/PV会)	⑭	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作④)
⑮	Workshop Adobe実践(作品提出/PV会)	⑮	Workshop Adobe実践(課題に基づいた作品制作④)
準備学習 時間外学習	特になし:課題提出に関しては、自己管理の下自己研鑽して下さい。	評価方法	筆記試験 および 作品提出
受講生への メッセージ	制作系の現場で、終業後すぐに求められるスキルです。しっかりと身に付けて下さい。	使用教科 書 教材 参考書	特になし

2023年度 授業シラバス

科目名	カメラワーク	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 即戦力になる為の機材の扱い方、仕事への心構えなどを中心に、実践をメインとした学習。							
【到達目標】 撮影の基本・応用を学び、在学中の撮影現場でスムーズに収録できる技術を身につける。 *現場への即戦力を育てる！							
【教員の略歴】 放送芸術学院卒業生。 ENGカメラマンとしての撮影経験を持つ。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	撮影について・ケーブルの巻き方	①	複数のカメラを使用して撮影する
②	三脚の取扱い	②	複数のカメラを使用して撮影する
③	ホワイトバランス・基本操作	③	違う種類のカメラを使用して撮影する
④	室内での撮影	④	簡易サブシステムについて
⑤	屋外での撮影	⑤	簡易サブシステムの応用
⑥	1Kの合わせ方・イマジナリーライン	⑥	生徒だけで簡易サブを組む
⑦	レンズ交換・レンズの特性・被写界深度	⑦	生徒だけで簡易サブを組む
⑧	複数のカメラを使用する撮影の基本	⑧	生徒だけで簡易サブを組み、収録する(メイキング撮影)
⑨	複数のカメラを使用する撮影	⑨	生徒だけで簡易サブを組み、収録する(メイキング撮影)
⑩	試験前対策	⑩	試験前対策
⑪	前期試験(今までのおさらい)	⑪	後期試験
⑫	30秒動画	⑫	収録映像のプレビュー・確認
⑬	音声収録について(マイク関係)	⑬	色んなカメラを使用する
⑭	音声収録について(ミキサー関係)	⑭	色んなサブ機材を使用する
⑮	カメラでの音声収録方法	⑮	1年間のおさらい
準備学習 時間外学習	TVやライブ映像・マンガ等、 自分の好きなジャンルだけでなく幅広く色々な映像を見ましょう。	評価方法	出席率・授業態度・テストでの評価
受講生への メッセージ	実技がメインの授業です。 学校内だけでなく外に出る事もあります。 動きやすい服装・靴などを心掛けて下さい。	使用教科書 教材 参考書	PMW-320K/EX1R/Z280などのカメラ 音声・照明・特殊機材

2023年度 授業シラバス

科目名	スタジオワーク	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 グループに分け、模擬番組を作成&授業内で発表、総括する。							
【到達目標】 実際に15分から60分の番組を制作し、ラジオ番組制作におけるスタジオワークを学んでもらう。							
【教員の略歴】 現在、FM局にて様々な番組を担当 ディレクター							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	自己紹介、番組概要説明 など			①	模擬番組制作④ 企画		
②	模擬番組制作① 企画			②	模擬番組制作④		
③	模擬番組制作①			③	模擬番組制作④ リハーサル		
④	模擬番組制作① リハーサル			④	模擬番組制作④ 発表		
⑤	模擬番組制作① 発表			⑤	模擬番組制作⑤ 企画		
⑥	模擬番組制作② 企画			⑥	模擬番組制作⑤		
⑦	模擬番組制作②			⑦	模擬番組制作⑤ リハーサル		
⑧	模擬番組制作② リハーサル			⑧	模擬番組制作⑤ 発表		
⑨	模擬番組制作② 発表			⑨	模擬番組制作⑥ 企画		
⑩	模擬番組制作③ 企画			⑩	模擬番組制作⑥		
⑪	模擬番組制作③		前期試験	⑪	模擬番組制作⑥ リハーサル		後期試験
⑫	模擬番組制作③ リハーサル			⑫	模擬番組制作⑥ 発表		
⑬	模擬番組制作③ 発表			⑬	個人作品発表会 企画		
⑭	模擬番組に必要な素材制作			⑭	個人作品発表会 リハーサル		
⑮	模擬番組に必要な素材制作			⑮	個人作品発表会 本番		
準備学習 時間外学習	様々なジャンルの映像を観てください。			評価方法	試験、模擬番組制作を通じての評価はもちろん、チームワークを必要とする作業も多いので、出席日数や連絡の有無、授業態度も評価対象とします。		
受講生への メッセージ	実践重視の授業です。様々なことを学んでいきますが、「プロの現場」と「授業で学ぶ内容」は同じことが多いので、卒業後、即戦力になるためにも高い意識を持って臨んでほしいです。			使用教科書 教材 参考書	特になし		

2023年度 授業シラバス

科目名	ステージワーク	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 合同制作や産学協同、WeAreと連携し、作品創造へ臨機応変に対応する授業です。PCソフトウェアProToolsの使い方、編集の方法と考え方、ポストプロダクションの基礎を学び、作品を創ることによってテクニカルとクリエイティブな知識を総合的に習得します。							
【到達目標】 サウンドエンジニアとしての基礎技術を習得							
【教員の略歴】 テレビ音声(スタジオ/ロケ/各種中継)・整音技術・ライブイベント音響を数多く手がけるロケから中継まで幅広く手がける。音響ではツアーなどにおける音響オペレートやシステムチューニングを担当。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	テレビ番組におけるポストプロ作業	①	課題制作
②	ProToolsの基礎	②	課題整音実習
③	素材の取り込み～実際の作業工程	③	課題整音実習
④	オーディオレコーディングの方法	④	課題整音実習
⑤	編集テクニック	⑤	課題整音実習
⑥	音源ワンコーラス編集実習	⑥	WeAre制作
⑦	音源ワンコーラス編集実習	⑦	WeAre制作
⑧	課題整音実習	⑧	WeAre制作
⑨	課題整音実習	⑨	WeAre制作
⑩	課題提出	前期試験	⑩ WeAre制作
⑪	効果音制作	⑪	課題提出
⑫	効果音制作	⑫	WeAre制作
⑬	中継録音の方法	⑬	WeAre制作
⑭	整音実習	⑭	WeAre制作
⑮	整音実習	⑮	まとめ
準備学習 時間外学習	Macの操作方法、ソフトウェアの操作方法が主になります。台数が限られるため、空いた時間に復習したり、不明な点は次回授業までに解決しておく努力が必要です。	評価方法	出席率、試験での評価、積極性や課題への取り組みなど平常点を総合的に評価します。
受講生への メッセージ	PCを使った授業になります。PCが苦手な人も多いかと思いますが、ソフトウェアの操作方法を覚えれば作品を創ることが可能です。苦手と思わずに、まずは触ってみて楽しみながら進めていきましょう。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2023年度 授業シラバス

科目名	ライティング	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 照明の基礎、一般調光卓の使い方を学ぶ。							
【到達目標】 照明の基礎、一般調光卓の操作業界人の心構えを一年をかけて習得する。							
【教員の略歴】 音響技術者歴8年以降は照明技術者として20年 日本照明家協会1級取得							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	舞台用語基礎～市民会館・ホールのお仕事	①	ホスピタルオブミラクルに向けて 安全対策・ホール詳細	
②	仕事の種類 ～ 就職対策	②	シーンの作り方①	
③	照明の仕組み ～ 器具の説明	③	シーンの作り方②	
④	器具の使い方	④	シーンの作り方③	
⑤	明かりの種類と組み合わせ	⑤	音楽の照明プラン① 楽曲解析とリズム	
⑥	ピンスポット基礎	⑥	音楽の照明プラン② Q番号の振り方	
⑦	シュートの基礎	⑦	芝居の照明プラン①	
⑧	回路取り ～ 仕込み ～ シュート	⑧	芝居の照明プラン②	
⑨	音楽の照明を考える・チャレキャン対策	⑨	進路ミュージカル対策 ①	
⑩	調光卓の操作 基礎 ①	⑩	進路ミュージカル対策 ②	
⑪	調光卓の操作 基礎 ②	⑪	調光卓の操作	
⑫	明かり作りの基礎 ① 仕込み図面の書き方	⑫	後期試験	後期試験
⑬	前期試験	前期試験	⑬	進級公演に向けて ①
⑭	明かり作りの基礎 ② 情景描写・心理描写	⑭	⑭	進級公演に向けて ②
⑮	明かり作りの基礎 ③ フェードチェンジ・カットチェンジ	⑮	⑮	進級公演に向けて ③
準備学習 時間外学習	授業の復習	評価方法	試験、授業内評価、出席評価とする。	
受講生への メッセージ	照明を好きになってください。	使用教科書 教材 参考書	PC,モニター、照明基礎の資料	

2023年度 授業シラバス

科目名	映像編集	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 即戦力になる為の機材の扱い方・映像編集の基礎、仕事への心構えなどを中心に、実践をメインとした学習							
【到達目標】 ・撮影現場におけるカメラアシスタントの技術向上 ・ENGクルーのカメラマン、音声、照明の役割を理解する ・カメラマンとしての人間形成							
【教員の略歴】 日本だけでなく海外でも取材の経験を持つ。 スポーツ・報道・CMなど、各分野で活躍するENGカメラマン。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	ENGについて・ケーブルの巻き方	①	ENG音声の基本
②	三脚の取扱い	②	音声の応用
③	ホワイトバランス・基本操作	③	ENG照明の基本
④	走査線・TC・NDとは	④	照明の応用
⑤	外ロケ	⑤	音声・照明を使ったロケ体験
⑥	30秒動画の撮影	⑥	音声・照明を使ったロケ体験
⑦	映像編集について 基礎	⑦	音声・照明を使ったロケ体験
⑧	1Kの合わせ方・イマジナリーライン	⑧	ロケ体験撮影 総括
⑨	レンズ交換・被写界深度	⑨	クロマキー撮影
⑩	台本にそっての撮影	⑩	試験前対策
⑪	前期試験(今までのおさらい)	前期試験	⑪ 後期試験(実技) 後期試験
⑫	台本にそっての撮影(屋内・屋外)	⑫	後期の振り返り
⑬	音声・照明を使ったロケ体験	⑬	各種撮影・編集
⑭	映像の編集について 応用	⑭	各種撮影・編集
⑮	前期の振り返り	⑮	1年間の振り返り
準備学習 時間外学習	TVを見ましょう。 なんとなく見るのではなく、しっかりと。	評価方法	出席率・授業態度・テストでの評価
受講生への メッセージ	実技がメインの授業です。 動きやすい服装・靴などを心掛けて下さい。 学校内だけでなく外に出る事もあります。	使用教科書 教材 参考書	PMW-320K/EX1R/C300などのカメラ 音声・照明機材

2023年度 授業シラバス

科目名	音声技術	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 DTMソフトを使用して、ジングル/フラッシュ制作を実施。							
【到達目標】 TV・ラジオ番組に必要な、DTM知識と技術を学び放送用の番組にも使用できる作品を制作する。							
【教員の略歴】 現在、FM局にて様々な番組を担当 ディレクター							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介、番組概要説明 など	①	模擬番組に必要な素材制作を随時
②	NA 編集など	②	模擬番組に必要な素材制作を随時
③	完パケ、音声の加工/演出技術など	③	模擬番組に必要な素材制作を随時
④	JINGLE / SPOT 作成	④	個人作品発表会
⑤	模擬番組に必要な素材制作を随時	⑤	模擬番組に必要な素材制作を随時
⑥	模擬番組に必要な素材制作を随時	⑥	模擬番組に必要な素材制作を随時
⑦	模擬番組に必要な素材制作を随時	⑦	模擬番組に必要な素材制作を随時
⑧	模擬番組に必要な素材制作を随時	⑧	個人作品発表会
⑨	模擬番組に必要な素材制作を随時	⑨	模擬番組に必要な素材制作を随時
⑩	個人作品発表会	前期試験	⑩ 模擬番組に必要な素材制作を随時
⑪	模擬番組企画	⑪	模擬番組に必要な素材制作を随時
⑫	模擬番組に必要な素材制作を随時	⑫	個人作品発表会
⑬	模擬番組 リハーサル	⑬	模擬番組 リハーサル
⑭	模擬番組 本番	⑭	模擬番組 本番
⑮	模擬番組 反省会	⑮	模擬番組 反省会
準備学習 時間外学習	特に指定はありませんが、必要に応じて行います。	評価方法	作品はもちろん、試験や出席日数や授業態度も評価します。
受講生への メッセージ	編集の能力にはセンスと努力が直結します。 良いアイデアも形にする能力が低ければ意味がないので、 頑張ってください！	使用教科書 教材 参考書	特になし

2023年度 授業シラバス

科目名	広告・宣伝	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】
企画・制作・撮影を通年で繰り返し行い、作品制作を中心に15秒・30秒・3分～5分課題に取り組む。

【到達目標】
映像コンテンツ制作基礎知識の習得とクリエイティブ能力の創出。企画・制作・撮影を通年で繰り返し行い、作品制作を中心に15秒・30秒・3分～5分課題に取り組む。

【教員の略歴】
TVCM・PromotionVideo・TV番組など映像コンテンツプロデューサー、ディレクター。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション 授業目標の解説と班分け。	①	Creative WorkShop 班メンバー組換え/企画立案 1
②	Creative Workshop 企画立案 1	②	Creative Workshop 企画立案 2
③	Creative Workshop 企画立案 2	③	Creative Workshop 制作準備 1
④	Creative Workshop 制作準備 1	④	Creative WorkShop 制作準備 2
⑤	Creative Workshop 制作準備 2	⑤	Creative WorkShop 撮影期間
⑥	Creative Workshop 撮影期間	⑥	Creative Workshop 編集期間
⑦	Creative Workshop 編集期間	⑦	Creative Workshop 作品提出 PV会
⑧	Creative Workshop 作品提出 PV会	⑧	Creative Workshop 企画立案 1
⑨	Creative Workshop 企画立案 1	⑨	Creative Workshop 制作準備 1
⑩	Creative Workshop 制作準備 1	⑩	Creative WorkShop 撮影期間
⑪	Creative Workshop 撮影期間	⑪	Creative WorkShop 編集期間
⑫	Creative Workshop 編集期間	⑫	成績判定 作品提出 PV会
⑬	Creative Workshop 作品提出 PV会	⑬	成績判定 作品提出 PV会
⑭	Creative Workshop 作品提出 PV会	⑭	成績判定 作品提出 PV会
⑮	Creative Workshop 作品提出 PV会	⑮	総まとめ
準備学習 時間外学習	特になし:課題提出に関しては、自己管理の下自己研鑽して下さい。	評価方法	前期、後期共に、試験・作品評価となります。
受講生への メッセージ	個々に感じているクリエイティブセンスを 実践の中でさらに磨いて下さい。 楽しい映像作品を一緒に作りましょう!	使用教科書 教材 参考書	特になし

2023年度 授業シラバス

科目名	台本制作	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 プロの漫才師やお笑い芸人コースの生徒を想定した漫才台本を創作、改訂を重ねる。 興味のあること、知りたいことを質疑応答によって深める。 年末に、漫才に挑戦！							
【到達目標】 漫才の作り方、演者の求める台本、プロの漫才の見方を学び、自分らしい創造力・表現力を磨く							
【教員の略歴】 お笑い番組をはじめ、報道、通販などテレビ番組の企画・構成を担当している放送作家。 又、漫才作家として、ネタ台本の提供や、芸人のネタ作りのサポート、お笑いライブの構成なども。 漫才コンクール等の賞レースや、オーディションライブの審査員も。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	質疑応答 ～興味のあること、知りたいこと～	①	漫才鑑賞
②	質疑応答／漫才台本提出・改訂	②	質疑応答／漫才台本提出・改訂
③	質疑応答／漫才台本提出・改訂	③	質疑応答／漫才台本提出・改訂
④	質疑応答／漫才台本提出・改訂	④	お笑い芸人コースの芸人を想定して漫才台本制作
⑤	漫才鑑賞	⑤	お笑い芸人コースの芸人を想定して漫才台本制作
⑥	質疑応答／漫才台本提出・改訂	⑥	漫才鑑賞
⑦	質疑応答／漫才台本提出・改訂	⑦	漫才挑戦に向けて
⑧	漫才鑑賞	⑧	漫才挑戦
⑨	前期試験に向けて	⑨	漫才鑑賞
⑩	前期試験	⑩	前期試験に向けて
⑪	質疑応答／漫才台本提出・改訂	⑪	後期試験
⑫	質疑応答／漫才台本提出・改訂	⑫	後期のまとめ
⑬	漫才鑑賞	⑬	お笑い芸人コースの芸人を想定して漫才台本制作
⑭	漫才挑戦	⑭	質疑応答／漫才台本提出・改訂
⑮	前期のまとめ	⑮	1年間のまとめ
準備学習 時間外学習	テレビや劇場で沢山ネタを見ること。 (ユーチューブに頼らない)	評価方法	出席率、授業態度、試験にて評価
受講生への メッセージ	質問や、ネタの感想など、積極的に発言すること。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2023年度 授業シラバス

科目名	マネジメントワーク	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 タレントマネジメントやプロデュースを行う上での基礎知識を学び、クラス内での発表等で、人前でもきちんとプレゼンできる能力を身につける							
【到達目標】 プロデュースの基礎知識を学び、自身で発信できるマネージャーを目指す							
【教員の略歴】 大手芸能事務所でマネージャーを経て現在、タレントマネジメントの統括以外に演劇プロデューサー、イベントプロデューサーなど様々なジャンルのプロデュースやマネジメントを手がける							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	授業説明および自己紹介		①	タレント概論(1) インタビュー	
②	スカウト概論		②	タレント概論(2) プロフィール作成	
③	育成概論		③	タレント概論(3) アーティスト写真撮影～全身～	
④	SNS概論		④	タレント概論(4) アーティスト写真撮影～アップ～	
⑤	競合概論		⑤	タレント概論(5) タレントのキャッチコピーを考えよう	
⑥	営業概論		⑥	タレント概論(6) キャスティングを考えよう	
⑦	オリンピック競技提案		⑦	タレント概論(7) 芸人ドラフト会議	
⑧	自分の漢字		⑧	タレント概論(8) 今年の漢字を考える	
⑨	募集チラシ作り		⑨	タレント概論(9) 記者会見をプロデュース	
⑩	プロフィール作成		⑩	営業実践①	
⑪	手紙で想いを伝える		⑪	営業実践②	
⑫	試験(個別&グループワーク)	前期試験	⑫	試験(個別&グループワーク)	後期試験
⑬	ハガキ職人		⑬	タレントとのコミュニケーションをプロデュース	
⑭	動画の企画を考えよう		⑭	タレントとのコミュニケーションをプロデュース	
⑮	後期に向けての準備		⑮	まとめ	
準備学習 時間外学習	とにかく世の中のことに興味を持ち、思いっきり遊ぶときは遊びましょう！		評価方法	試験、授業内評価、出席評価とする。	
受講生への メッセージ	内容が難しく眠くなる授業の時もあるかもしれませんがタレントマネジメントやプロデュースに必要な知識を学ぶことができるので頑張りましょう！		使用教科書 教材 参考書	PC(OFFICE,イラストレーター等)	

2023年度 授業シラバス

科目名	就職対策講座	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 プロフェッショナルを意識し、思考力・行動力・協調性を学び、就職活動開始までの取り組みの中で自分自身を向き合う。履歴書記入の自己PRの基礎から大手企業で実際に行われている書類選考対策をし、業界大手への就職を目指すための準備をする。							
【到達目標】 業界に必要な基礎知識を学ぶと共に、学内における機材設備の扱い方などの学校で学ぶ事と業界での基礎知識を習得する。 また、就職活動における企業リサーチ法・志望動機・自己PRの書き方などの基礎を学び、SPIを通して職業観と自身にあった進路決定が出来る様になる。							
【教員の略歴】 TV業界に就職。様々なテレビ番組に携わる。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	サクセスノートの説明 到達点発表と授業意義について		①	後期スケジュールの確認 授業単位と各成績・就職活動連動について	
②	サクセスノート① 就活2年間スケジュールの概要説明		②	履歴書フォーマット制作 学歴等の記入に関して	サクセスノート
③	エンターテインメント業界における「プロフェッショナルとは。」 思考力と行動力と協調性について		③	GDから学ぶ、「企業側の視点」	
④	産学連携教育と学校イベントに向けて。 あなたのPDCサイクル表の作成		④	簡単自己紹介20秒。面接練習その①	
⑤	コミュニケーションワーク		⑤	質疑応答対策、問題100問。面接練習その②	
⑥	目標再設定。なぜ、この職業を選んだのか。		⑥	性格診断・SPI対策テストの実施	
⑦	自己PRの作り方講座①。～自己分析編 強みの発見～		⑦	就職活動アンケートを実施 勤務地・業務内容・担任へ相談したいこと等	課題提出
⑧	自己PRの作り方講座②。～文章力の向上～		⑧	マイナビ・リクナビなど就職活動サイトを通して、 就職活動本格準備。	
⑨	自己PRの作り方講座③。～掘り下げて、考える～	課題提出	⑨	SPI性格診断振り返り。 2月3月就職活動スタートダッシュに向けての取り組み	
⑩	他己紹介シート作成。～第一印象でプラス印象の与え方～	前期試験 課題提出	⑩	大手就職対策① 「短所を400字で記入。」(テイクシステムズ)	課題提出
⑪	他己紹介シート作成。～第一印象でプラス印象の与え方～		⑪	大手就職対策② 「A4自由形式の自己PR」(ヌーベルグループ)	後期試験 課題提出
⑫	合同企業説明会に向けて① 企業リサーチとプロフィールシートの作成		⑫	インターンと就職活動に関して	
⑬	合同企業説明会に向けて② 企業リサーチとプロフィールシートの作成		⑬	インターンと就職活動に関して	
⑭	合同企業説明会に向けて③ 印象の残し方。※授業アンケートの実施		⑭	出陣式	
⑮	合同企業説明会に向けて④ 質疑応答練習。		⑮	まとめ	
準備学習 時間外学習	企業リサーチ 自己PRなど		評価方法	試験、出席率評価及び、授業取り組み姿勢と、提出物による評価	
受講生への メッセージ	就職活動でいいスタートが切れるように頑張りましょう。		使用教科書 教材 参考書	教科書・サクセスノート(教材配布分) 独自のパワーポイント	

2023年度 授業シラバス

科目名	進級制作	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 お笑いライブなどの企画、制作に関する知識を学び、協力して面白いライブを作る							
【到達目標】 誰もが知る伝説のお笑いライブなどをつくる。							
【教員の略歴】 制作会社所属 お笑いイベントに関わる裏方スタッフへ、大道具を経て舞台監督となる。 他にも音楽フェスやミュージカルの舞台監督も行う							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	自己紹介 PR 概論			①	イベント企画会議 全体仕上げ		
②	イベント企画会議 内容決定			②	イベント 舞台リハ 音響照明込み		
③	イベント企画会議 台本制作			③	イベント 舞台リハ 全体仕込み		
④	イベント企画会議 全体仕上げ			④	イベントゲネプロ		
⑤	イベント企画会議 場当たり			⑤	イベント反省会		
⑥	イベント ゲネプロ			⑥	制作展企画会議 内容決定		
⑦	イベント反省会			⑦	制作展企画会議 台本制作		
⑧	イベント企画会議			⑧	制作展企画会議 全体仕上げ		
⑨	イベント企画会議 内容決定			⑨	制作展場当たり		
⑩	イベント企画会議 台本制作			⑩	制作展場当たり		
⑪	全体テスト	前期試験		⑪	制作展 舞台リハ 音響照明込み		後期試験
⑫	イベント企画会議 場当たり			⑫	制作展 舞台リハ 全仕込み		
⑬	イベント企画会議 場当たり			⑬	制作展 ゲネプロ		
⑭	イベント企画会議 場当たり			⑭	制作展 本番		
⑮	イベント企画会議 全体仕上げ			⑮	振り返り		
準備学習 時間外学習	たくさんの作品に触れてください。			評価方法	試験、全体のチームワーク、イベントに対する意識・姿勢		
受講生への メッセージ	一緒に面白いライブを作りましょう！			使用教科書 教材 参考書	ドリームホール機材一式		